

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	あんさんぶる・れねっと アンサンブル・レネット	団体ウェブサイトURL	https://rainette.jp
代表者職・氏名	寺田敏雄		
制作団体所在地	〒 543-0053 最寄り駅(バス停) 天王寺駅 大阪府大阪市天王寺区北河堀町10-8-1001		
電話番号	06-4305-0444		
ふりがな 公演団体名	あんさんぶる・れねっと アンサンブル・レネット	団体ウェブサイトURL	https://rainette.jp
代表者職・氏名	寺田敏雄		
公演団体所在地	〒 543-0053 最寄り駅(バス停) 天王寺駅 大阪府大阪市天王寺区北河堀町10-8-1001		
制作団体 設立年月	06-4305-0444		
制作団体組織	役員 代表 寺田敏雄 総務部長 藤村竜也 企画・構成部長 小川悟史	団体構成員及び加入条件等 会員としての資格は、子ども・青少年のための音楽創造を目指すことを理念とし、専門家としての技術を有し、会員2名以上の推薦により総会の承認を得たときから取得する。	
事務体制 (専任担当者の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名	北川聖香
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	寺田ちはる

<p>制作団体沿革</p>	<p>1962年10月、児童文学作家 華房良輔が中心となり「子どもに届ける舞台芸術は、プロの演奏家が子どものために創った作品を届けるべきだ。子どもの作品に特化した楽団が情熱をもって作品創りに向き合うことが大切だ」という想いで結成。</p> <p>その理念を受け継ぎ、当楽団は創立以来、子ども・青少年向けの作品を創り届け続けている。小学校や中学校公演を中心に、教育委員会関係のイベントや全国のおよこ劇場、劇場ホールで活動をしている。</p> <p>現在までの総演奏ステージは8000回を超え、総観客数は400万人にも及んでいます。</p>																					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>昭和37～63年 小中学校や親子劇場、教育委員会、幼保育園など計3119公演実施</p> <p>平成元年～31年 小中学校や親子劇場、教育委員会、幼保育園など計2034公演実施</p> <p>令和2年 「台所狂騒曲を含む音楽会」14公演 オペレッタ「天満のとらやん」を含む音楽会1公演 その他12公演</p> <p>令和3年 「台所狂騒曲」を含む音楽会 71公演、音落楽語「MOMOTARO」4公演 オペレッタ「天満のとらやん」を含む音楽会 3公演 その他「バナナの大冒険」「くるみ割り人形」「まあるいもの探せ！」など35公演</p> <p>令和4年 「台所狂騒曲」を含む音楽会 115公演、オペレッタ「天満のとらやん」を含む音楽会 5公演 その他「バナナの大冒険」「まあるいもの探せ！」など19公演 実施決定している公演数です。</p>																					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>近畿圏内の養護学校や盲学校で実績あり。</p> <table border="0" data-bbox="391 1025 1244 1429"> <tr> <td>H29/11/14 京都府立盲学校</td> <td>S52/2/13 西ノ京養護学校</td> </tr> <tr> <td>H18/10/24 京都府立盲学校舞鶴分校</td> <td>S50/11/10 生野養護学校</td> </tr> <tr> <td>H7/2/10 茨木養護学校</td> <td>S48/2/7 生野養護学校</td> </tr> <tr> <td>S59/11/14 藤井寺養護学校</td> <td>S47/12/13 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>S57/4/30 生野養護学校</td> <td>S46/10/30 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>S54/9/27 生野養護学校</td> <td>S45/3/6 貝塚養護学校</td> </tr> <tr> <td>S53/12/3 西ノ京養護学校</td> <td>S44/7/7 難波養護学校</td> </tr> <tr> <td>S53/9/28 生野養護学校</td> <td>S44/5/21 大阪府立盲学校</td> </tr> <tr> <td>S53/3/3 松原市養護学校</td> <td>S39/11/15 大阪府立盲学校</td> </tr> <tr> <td>S53/2/19 西ノ京養護学校</td> <td></td> </tr> </table>		H29/11/14 京都府立盲学校	S52/2/13 西ノ京養護学校	H18/10/24 京都府立盲学校舞鶴分校	S50/11/10 生野養護学校	H7/2/10 茨木養護学校	S48/2/7 生野養護学校	S59/11/14 藤井寺養護学校	S47/12/13 難波養護学校	S57/4/30 生野養護学校	S46/10/30 難波養護学校	S54/9/27 生野養護学校	S45/3/6 貝塚養護学校	S53/12/3 西ノ京養護学校	S44/7/7 難波養護学校	S53/9/28 生野養護学校	S44/5/21 大阪府立盲学校	S53/3/3 松原市養護学校	S39/11/15 大阪府立盲学校	S53/2/19 西ノ京養護学校	
H29/11/14 京都府立盲学校	S52/2/13 西ノ京養護学校																					
H18/10/24 京都府立盲学校舞鶴分校	S50/11/10 生野養護学校																					
H7/2/10 茨木養護学校	S48/2/7 生野養護学校																					
S59/11/14 藤井寺養護学校	S47/12/13 難波養護学校																					
S57/4/30 生野養護学校	S46/10/30 難波養護学校																					
S54/9/27 生野養護学校	S45/3/6 貝塚養護学校																					
S53/12/3 西ノ京養護学校	S44/7/7 難波養護学校																					
S53/9/28 生野養護学校	S44/5/21 大阪府立盲学校																					
S53/3/3 松原市養護学校	S39/11/15 大阪府立盲学校																					
S53/2/19 西ノ京養護学校																						
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>																				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/TJd7YmGmHqQ</p>																				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1" data-bbox="933 1608 1431 1686"> <tr> <td>ID:</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td>なし</td> </tr> </table>	ID:	なし	PW:	なし																
ID:	なし																					
PW:	なし																					

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		0	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	7時	7時～9時		13時30分～14時50分	10分	15時～16時	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	計 110日
	10日	15日	15日	15日	15日	
	11月	12月	1月			
	10日	15日	15日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	鑑賞人数と同数
		鑑賞人数目安	～500名



(図1) 体育館フロアに舞台を設置した状態での
楽器紹介・器楽合奏の様子。



(図2) 体育館フロアに舞台を設置したでの
「台所狂騒曲」の上演様子。

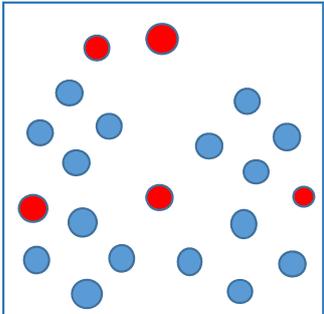


(図3) 「台所狂騒曲」公演様子
「Happy Birthday to You」を、スペインや
ドイツ、中国、ロシアなど世界14ヵ国の
特徴ある音楽に味付けアレンジ。
途中サプライズで、児童3名くらい
演奏に参加して頂きます。
チンゲンサイ先生の美味しい音楽を
さぁ召し上がれ！

※公演実施の際は体育館フロア・体育館舞台上どちらでも公演可能

公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校生徒一同でも単学年でも対応可能
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>①導入(5分)</p> <p>②インプロゲームを複数回実施(40分) 子ども同士でコミュニケーションを取るのと同時に、即興生を身につけ自身の感情を身体で表現する。</p> <p>③休憩(10分)</p> <p>④予め決めた曲を出演者が演奏しながら、子どもたちは曲に合わせて手拍子をし、アンサンブルを体験(20分) 協調性やアンサンブル力を養う。</p> <p>⑥振り返り(5分)</p> <p>(別添あり)</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>今回取り上げた「インプロ」とは「即興」を意味する「Improvisation(インプロヴィゼーション)」の略であり、その場に起きたことに対してどのように反応し対応するのか、また自然発生的に出た行動や感情から生み出されるものである。</p> <p>人は相手に自分の思いや考えを伝えたり、何かを表現する時に、失敗したときの恐れや、人に見られることの恥ずかしさから自分からの行動を萎縮してしまうことがある。</p> <p>今回のワークショップを通して、同じ空間に居る相手を受け入れ、自身が抱いている感情を失敗を恐れずに言葉や行動で表現するきっかけとする。</p> <p>また最後のアンサンブルでは、相手が出した音に合わせてみたり、自分自身から自然とでた音楽を表現する【楽譜を使わない音楽セッション】を通して、子どもたちが互いを尊重し合い本来もっている創造性や協調性、自由な表現力を引き出していく。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>参考資料:子どもたちとレッツ!インプロ!/鈴木聡之(著)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>(図4) ワークショップの形態</p> <p>● 児童生徒 ● 実演者</p> </div> </div>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

アンサンブル・レネット

】

i) 離島・へき地等における公演実績

離島・へき地での公演経験は多くはありませんが、電源と演奏スペースさえあれば、どんな条件でも楽しい公演をお届けする自信はあります。

ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】

日頃から、小規模な公演やワークショップは多く経験しているので、特に何も心配はございません。
万が一のことを考え、日頃から必ず器材車が会場まで辿り着けるようにと分載分乗を基本に移動しているので、一番大きなハイエースバンが現場まで辿り着けるならどんな所でも公演可能です。

【質を保つための工夫】

会場の大きさに合わせた音響機材を使用しますので、質の良い音を届ける事ができます。
また、照明については団体所有の機材を使用するため、後ろの方に座っている子ども達にも舞台が暗くて奏者・役者が見えないという問題が起こらないように工夫を施しています。

公演やワークショップに関しては、人数やその時の状況に合わせて、打合せ時の内容をもとに、柔軟に対応しながらコミュニケーションを図る工夫をします。

ワークショップ中・公演前までの時間に子ども達と会話でコミュニケーションを図り、全員揃い次第、そのまま公演を開始することで子どもと団体側の心の距離が近くなり会場に一体感が生まれます。
その結果、子ども達の記憶に残る公演を実施することが出来ます。

iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫

- ・公演に必要な機材(照明・音響機材)は団体所有のものを使用し、設営に関しても演奏者自身で行います。
- ・楽器・小道具・機材運搬について、基本的には団体所有の車(ハイエース1台)に収めて移動し、運搬費用を削減するよう工夫している。

出演者の移動に関しても公共交通機関を可能な限り使用せず、器材車に同乗し経費の削減に努めます。

C区分で事業を
実施するに当たっての
工夫

リンク先	No.3	【公演団体名	アンサンブル・レネット 】
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>①導入(5分)</p> <p>②インプロゲームを実施(i)～iii) 合計40分) 子ども同士がコミュニケーションを取るのと同時に自身の感情を身体で表現する。</p> <p>i)【レッツイメージ！(1人で)】(10分) 出演者が出すお題に対して、子ども達が即興的に思いついた行動を身体で表現をする。 例:お題:「雨が降ってきた!」→子ども「傘をさす」「雨宿りをする」等</p> <p>ii)【ナイフアンドフォーク(2人ペア)】(10分) 片方がナイフなら、片方がフォークのように身体全体を使ってそのものを表現する。 ペアの子の表現をみて、その表現から連想できるもの・ことを瞬時に表現する。</p> <p>iii)【ジェスチャーゲーム(4～6人1グループ)】(10分) グループに分け、ジェスチャーをする人と答える人にわかる。 ジェスチャーをする人は進行役から出題するお題を話さずに身体全体を使って表現する。 答える人はその表現(ジェスチャー)からなにを表現しているのか想像し、答える。 出演者:恥ずかしがる子どもがいたら、「失敗していいんだよ!」と声をかけたり、自由に表現できるように子どもたちのサポートをする。</p> <p>iiii)【連想ゲーム(8～10人1グループ)】(10分) 進行役が出題するお題から連想できる言葉を簡単なリズムに当てはめて、手拍子でリズムをとりながら、言葉を声に出してアンサンブルする。 例:「中華料理屋さん」→チャーハン、酢豚、チンジャオロース 等 「お菓子」→クッキー、じゃがりこ、アポロ 等</p> <p>③休憩(10分)</p> <p>④予め決めた曲を出演者が演奏しながら、子どもたちは曲に合わせて手拍子をし、アンサンブルを体験(20分) ・②iii)の連想ゲームに出てきたリズムを復習。 ・グループにわかれ、グループごとにリズムを分けて練習してから、全体で2曲程度アンサンブルをする。 ・ただ手拍子をするだけでなく、強弱をつけたりして変化をもたせながら、対応力や協調性・アンサンブル力を養う。</p> <p>⑥振り返り(5分)</p>		